

## 「市長記者会見」の概要

■日時 令和5年6月1日（木）午後1時30分

■会場 千曲市役所 応接会議室・庁議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、  
新建新聞北信支部報道部、長野市民新聞

■内容（プレスリリース）

1 令和5年第3回（6月）千曲市議会定例会の日程及び提出議案について

■市政全般について

【質疑応答】

○(株)信州スポーツスピリットについて

問 5月29日の「(株)信州スポーツスピリット」の株主総会で、社名が「(株)NAGANO SPIRIT」に変更になり、社長も代わり、取締役には長野市副市長が就任することが決まったが、どう受け止めているか。

回答 臨時株主総会には株主の一人として出席した。議案は商号の変更に伴う定款変更と取締役の交代。それぞれ変更の理由を伺い、新B1ライセンス取得のための必要な方針であるとの説明を受け議案について賛成をした。千曲市は、信州ブレイブウォリアーズ誕生の地として今後もできる限り必要な支援をしていきたい。

問 今シーズンは、ことぶきアリーナ千曲で4試合あり、千曲市の特別協賛試合もあった。来シーズンはどのように関わっていくのか。どのように応援していくのか。

回答 特別協賛試合は千曲市誕生20周年を信州ブレイブウォリアーズ、ブースターの皆さんと一緒に盛り上げたいという思いで開催したもので、次年度以降は考えていない。その他の支援は今後庁内で検討していきたい。設立から12年、大小様々な支援、財政的な支援をしてきた。観客動員数の課題があるが、1試合でも多くことぶきアリーナ千曲での開催を望んでいる。

問 昨年、(株)信州スポーツスピリットの本社が長野市に移転となった。このことについてはどう考えているか。

回答 後援会の本拠地は現在も千曲市にあり、千曲市で誕生したチームが新B1基準をクリアすることは千曲市の悲願でもある。連携中枢都市圏長野エリアでプロチームを応援することは事業としてすでに行っている。これからも何らかの形で支援ができればと考えている。

○遊水地について

問 先月埴生遊水地の起工式があったが、平和橋遊水地（八幡）の状況と出水期に向けての対策は。

回答 八幡の遊水地は、住民説明会を重ね具体的な話も大詰めといったところ。一日も早く完成するよう市としてもできる限り進めていく。その間の出水対策も、万が一に備え国や県とも連携を取りながら対策していく。

○高校再編について

問 新校の懇話会の具体的な日程は出ているか。

回答 具体的な日程は出していない。県教委で懇話会を立ち上げ、人選も県教委が主体となつて進めるとの報告は受けている。具体的な人選、開催時期は聞いていない。

問 市長が入るかどうかわからないということか。

回答 決まっていない。他地域の懇話会を見ると副市長が入っていることが多いようだ。市長が入ることもあるので、県教委へは入れてほしい旨を伝えた。

○4月の統一地方選挙について

問 隣の坂城町での町長選挙の結果を受け、千曲市長として何か考えはあるか。

回答 広域施設など、坂城町とは連携して行っているので、引き続き山村町長と一緒に仕事ができることはやりやすいと思う。町議会とも顔を合わせる機会があるので、ともに協力してこの地域の行政を進めていきたい。

終了 午後1時54分